



新たな食の価値観・多様性に対応

原材料の大部分を植物由来で作ったスクランブルエッグ風商品 キューピー業務用から「HOBOTAMA」新発売 プラントベースフード第一弾として発進

6月30日(水)から全国に出荷

キューピー株式会社

キューピー株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員:長南 収、以下キューピー)は、プラントベース(植物由来)フードの開発に取り組み、その第一弾として原材料の大部分を植物由来のものから作った「HOBOTAMA」(ほぼたま)を業務用市場に向けて新発売します。

HOBOTAMA特集サイト:

<https://www.kewpie.co.jp/prouse/recommend/hobotama/>

ほぼたまごの味わい、ほぼスクランブルエッグ

新商品の「HOBOTAMA」は、豆乳加工品をベースに、スクランブルエッグのような見た目と食感を再現したプラントベースフードです。シェフが丁寧に手作りしたような半熟感を再現しており、飲食店などで提供するメニューの付加価値を高めることができます。プレーンな味わいで、パンや野菜などと相性がよく、サンドイッチや朝食メニューなどに幅広く使用できます。



「愛は食卓にある。」に込めた想いが、プラントベースフード開発の出発点に

キューピーグループはコーポレートメッセージ「愛は食卓にある。」に込めた想いのもと、サラダとタマゴを中心に、「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって世界の食と健康に貢献することをめざしています。この「めざす姿」を実現するため、2030年に“どうありたいか”を表した「キューピーグループ 2030 ビジョン」では、①サラダとタマゴのリーディングカンパニー、②一人ひとりの食のパートナー、③子どもの笑顔のサポーター、の3つの視点を掲げています。

もっとタマゴのおいしさと魅力を届けたい、一人ひとりの食に寄り添っていききたい、子どもたちの明るい未来を支えていききたいという想いを具現化するため、プラントベースフードの開発に取り組み、「HOBOTAMA」を商品化しました。アレルギーなどさまざまな理由で卵を食べられない方にも、寄り添うことができる商品です。

コーポレートメッセージ
愛は食卓にある。

めざす姿

私たちは「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって世界の食と健康に貢献するグループをめざします

2030ビジョン

- ① サラダとタマゴのリーディングカンパニー
- ② 一人ひとりの食のパートナー
- ③ 子どもの笑顔のサポーター



プラントベーススクランブルBURGER

キューピーグループの描く、プラントベースフードコンセプト

近年は日本でも、健康志向の高まりと地球環境への配慮の観点などから、プラントベースフードへの関心が高まっています。キューピーグループが持つさまざまな食品加工技術が強みにすれば、原材料の大部分を植物由来のものから作ったおいしいプラントベースフードの提供が可能になります。キューピーは、日本で最も卵を多く扱い、卵に精通したメーカーとして、今後も卵代替食品を中心にプラントベースフードのラインアップを拡充し、お客さまにさまざまな選択肢を提供する取り組みを広げていきます。

商品の概要は以下の通りです。

1. 商品名・内容量/荷姿・賞味期間・価格・発売日

《業務用》

ブランド	商品名	内容量/荷姿	賞味期間
-	HOBOTAMA	120g/20袋	冷凍1年

価格：オープン、発売日：2021年6月30日(水)

2. 商品特徴

- ・多様化する食のニーズに対応したプラントベースフードです。
- ・植物性主体の原材料（豆乳加工品ベース）で作った、半熟状のスクランブルエッグのような見た目と食感が楽しめる加工品です。
- ・卵を使用していません。
- ・プレーンな味わいでメニューの汎用性があります。
- ・鮮やかな色調でメニューに彩りを添えます。



解凍した状態



モーニングベジプレート

3. 主な提案先

飲食店（ファストフード、ホテル）、給食など



ほぼたままヨッコッペ